



関中央ロータリークラブ

2022-2023 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 藤村 伸隆 副会長 山本 義樹 幹事 森 敬 クラブ会報委員長 長谷部 貴司

2022~2023 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「いつも一緒に笑い・夢を描き・そして成長しよう」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2083回例会 2022年11月6日(日) 集合受付 午前8時30分～
森林整備例会(里山) / 担当 環境保全・インターアクト委員会

前例会の記録 第2082回 2022年10月27日(木)
「C. A 地区大会報告」 / 担当 会長・幹事

*ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

*会長あいさつ 藤村伸隆会長

こんばんは、10月22日、23日の地区大会には大変多くの皆様にご参加頂きましてありがとうございました。2日間の地区大会を通じ



まして改めて関中央ロータリークラブはクラブとしても素晴らしいクラブですし、会員の皆様も本当に素晴らしい会員の皆様ばかりだと思えました。今日は、土屋さん、北原さん、後藤さんに地区大会報告をして頂きます。よろしくお願ひ致します。

私も少しだけ地区大会についてお話をさせて頂きます。23日の記念講演で「地域経済とレジリエンス」のテーマで枝廣淳子様が講演されました。地域再生についてお話されていたと思いますが、地域委員会に携わっている身としまして、この前もお話しましたが、名古屋大学の留学生の生徒さん達に地域の再生について質問されあまりにも後ろ向きの答えばか

りだったなあと反省しました。

地域の中でお金をまわす。本当にそうだと思います。しかしながら、どうしてもマイナスのサイクルに入っている現状に目が行ってしまっている自分があります。人口が減少する、地域の商店関係はどんどん少なくなっていく、子供の人数も少なくなっていく。学校が合併でどんどん、しもえ、しもえ、行ってしまおう、またまた、どんどん人口が減少して行きます。このサイクルです。

私は27歳で上之保の鳥屋市へUターンで戻りました。40年がたちました。そのサイクルをずっと見てきました。40年前に戻った時、16軒あった下田畑と言う班の中で一番の若い衆でした。そして40年後、6軒になり住民の人数は8名になり、いまだに一番の若い衆が私です。もちろん別に生活してみえる家族の方達は、頻りに来てみえますが、まあ、これが上之保地域の全体の話では無いですが、上之保地域の中の一部の現状です。しかしながら上之保地域全体を考えれば、やはり地域委員会等も前向きにいろいろな取り組みをして行かねばならないと思えました。以上挨拶とさせて頂きます。

* C. A地区大会報告

土屋敏幸会員

私の役割は地区大会の全体の流れをお話することですので、深い話は北原・後藤両会員におまかせして簡単なお話にします。10月22



日(土)会場は長良川国際会議場。13時よりオープニング。かやの木学園「響」の和太鼓とダンスの融合で、山の響・風の響・天の響・喜びの響を披露しました。個人的には「風の響」が一番心に残っています。13時20分点鐘 大韓民国、タイ国、国歌演奏「君が代」「奉仕の理想」斉唱の後、4つのテスト唱和等、例年通りの進行の後、地区の現況報告がありました。現在2630地区には73クラブ、1613名の登録があるそうです。14時よりRI会長代理 安間みち子氏の講演がありました。この人は2日間で3回程壇上に立たれましたが、お話をされるときに体をよく動かして歩き回られていました。このやり方だと緊張しないそうです。今度そういう機会があったら真似してみようと思います。

14時30分から元RI研修リーダー鈴木一作氏の基調講演で演題は「What is Rotary?」でした。一生懸命メモをとっていたのですが、会場が暗いのと私の字が達筆すぎて自分で書いたのに読めないという情けない結果になっています。読める範囲でお話します。

1923-1924のガイ・ガンディカー氏のロータリー観が基本となる。親睦・学び・成長・奉仕の言葉が並び①人間性の向上②事業の向上③業界全体の向上④社会全体の向上⑤?これらを目指すことが「ロータリーの心と原点」であり、寛容という言葉が強調されていました。最後に「今日も来て良かったというクラブ運営」を目指しなさいとのことでした。

休憩の後、15時45分より表彰式があり、その後、岩佐瞭さんのローターアクトクラブ代表スピーチでテーマは「生きぬく」で生きつくすことを目標にとのことでした。

米山記念奨学生代表スピーチはスリランカ出身の岐阜大学 音楽教育課のナゴルナゲ・カラニ・ニメージャ・ランガニさんでした。アルバイトに時間をと

られることがなくなって勉学に集中することができたそうです。

ロータリー財団学友会代表スピーチは高橋一吉氏で70才とのこと。1986年オーストラリアに1か月間GSEとして派遣されたとのことでした。私のメモには「寛容と忍耐」と書いてあります。

地区研修リーダー所感の後、17時に点鐘・閉会となりました。夜は会員の皆さんと楽しい時間を過ごさせて頂きましたが、いつも会長に気をつけてお酒を飲みなさいと言われていたのにまた飲み過ぎてしまいました。

2日目は9時5分点鐘で始まりました。初日と同じプログラムの後、古田岐阜県知事、柴橋岐阜市長の祝辞があり、その後、参加クラブの紹介がありました。起立して手を振ったのですが、体調不良で元気がなかったと思います。

10時10分より安間RI会長代理のお話だったのですが、トイレに行っていたので途中からしか拝聴できなかったのですが、女性会員の加入促進だったと思います。会員の中には女性が加入するのならやめるといっている人がいるが、女性が加入したらその人に何でも聞くように話を持って行くと良い結果が生まれると話していたように思います。

10時30分より大会特別委員会報告と大会決議採択が行われました。休憩の後、枝廣淳子氏の記念講演がありました。テーマは「地域経済とレジリエンス」私のメモでいうと、社会の課題をみつけ改善していく活動をしている。まずは、温暖化対策①DAC(直接回収)②グリーンカーボン(植樹)③ブルーカーボン(海の生態系による回収)③は藻の再生、海藻に二酸化炭素を吸収してもらう。熱海に移住して会社を設立。全国で活動している。レジリエンス(しなやかな強さ)とは、バネの様に元に戻る回復力・再起力・弾力性のことだ。幸せなまちづくりにはぶれないビジョンと外部に依存しすぎないことだ。「気候変動×漁業支援×観光資源×環境教育」バックキャスト(ありたい姿を考える)で共有ビジョンを持ち、つながりを考え、プロジェクト(変革)してゆくこと。下請けではなく「横請け」でつながり「誰一人取り残さない」という考

えに持っていくことが大事である。私も自分自身に何ができるか考え続けていかなければいけないと思う。

講演の後、次期への誓いということでガバナーエレクト・ノミニーの紹介と挨拶がありました。篠原一行エレクトは、名古屋で行われた公共イメージ委員会に出席されていたのですが、やさしい話し方をされる人だと感じました。逆に亀井喜久雄ノミニーは北原さん曰く迫力ある話し方をする人ということでした。あくまでも北原さん曰くです。夕張地域の話がされていたのですが、672年に起きた壬申の乱で大海人皇子（天武天皇）が大友皇子（弘文皇子）に決戦を挑む決意をした場所と言っておられたのに興味を持ちました。最後に次期開催地の多治見リバーサイドRCに「大会の鐘」伝達等がありました。ご当地キャラクターの「うながっぱ」がかわいかったな。予定より少し遅れて点鐘・閉会となりました。昼はお弁当と富有柿2個をお土産にもらい帰ってきました。

北原慎会員

10月22日に行われた国際ロータリー2630地区 地区大会1日目の報告をさせていただきます。開催場所は長良川国際会議場で、当日は11時に関シティターミナルに集合、車3台に分かれて会場に向かいました、車を駐車場に停めて会場から徒歩2分ほどの古風土で昼食、カキフライとハラミ派に別れはしましたが、量も適量で美味しくいただきました。

1日目の全体の流れとしては、まず13時から「かやの木学園」による和太鼓とダンスのオープニングセレモニーが始まりました。会場の雰囲気やスケール、そしてクオリティーの高いパフォーマンスで素晴らしい演出だったと思います。

13時20分に高橋ガバナーの点鐘にて開会しました。続いて韓国国歌演奏などがありました。今回が地区大会初の出席でしたので、韓国国歌が流れだした時は少し驚きましたが、来賓に韓国の方がおみえになることを知り納得しました。その後、地区の現況報告、RI会長代理 安間様による講演などがあり、休



憩をはさみ鈴木一作様による基調講演が1時間ありました。その後、RI表彰や地区表彰、ロータリー財団米山記念奨学会表彰、感謝状贈呈などがあり予定よりも早く閉会となりました。

RI会長代理 安間様による講演では、ポリオ根絶に全力を尽くし大きなインパクトをもたらそうとのことでした。1987年にポリオ根絶計画に乗り出したとき125ヶ国で約35万人のポリオ患者がいたそうですが2022年9月時点でポリオ患者は21名にまでなったそうです。5年前まではアフリカ、パキスタン、アフガニスタンに患者がいたそうですが2019年にはアフリカでもポリオフリーの宣言がされたそうです。あと一歩まで来ているのでみんなで全力を尽くそうとのことでした。米山奨学生は現在日本国内に898名2630地区には21名がいます、米山奨学生制度の良いところは色々ありますが、ロータリー会員と共に活動をしてロータリーの理解を深め、そしてロータリアンを生み出す非常に良いきっかけになるとのことでした。積極的に取り組んでくださいとお話があり、いろいろな活動も単一クラブでは難しいことであれば他クラブとの合同活動が好ましいとのことでした。「イマジン ロータリー」を実践するために世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすよう呼びかけられました。

鈴木一作様の基調講演は「What is Rotary?」という演題で話を聞かせていただきました。その中で印象に残っていることは「職業奉仕も奉仕の理念も大事ではあるが、しかしロータリーの根幹ではない」ということでした。お話を聞いてまず根幹という言葉がいまひとつ理解できなかったので講演中にスマホで検索してみました。その結果、根幹とは「物事の大もと。ねもと。中心となるもの。」ということでした。ということは職業奉仕も奉仕の理念もロータリーの根っこでなければ幹でもないということかと驚きました。講演者の鈴木一作様は、ロータリーの根幹はロータリーの運営だといわれました。そして今日も出席してよかったと思える例会だともいわれました。そしてこれから永久的にロータリーが発展、継続していくのに一番必要なことは「寛容」といわれまし

た。教養の低い私は寛容の意味が今一つ理解できませんでしたので、即座にこの日 2 度目のスマホ検索をしました。結果は「他者の罪や落ち度、異論などを、広い心で受け容れること。」だそうです。このご意見は過失や落度の多い自分にとっては大変ありがたいお考えだと思いました。そしてアニメ鬼滅の刃の映画にて主人公の母親が残した言葉<あなたの力を世の中のために使いなさい>という言葉がロータリアンにとっても当てはまる言葉ともいわれました。私自身は何の能力も力もありませんが、ロータリーの根幹である例会に参加する意欲は備わっておりますので今後もできる限り例会に参加しロータリーの知識や考え方を理解できるよう勉強していこうと思えました。

予定よりも早く閉会しましたので宿泊先の岐阜キャッスルインに 5 時くらいには到着したと思います、すぐに荷物を置いてロビーに集合、徒歩にて懇親会会場である割烹官房に移動しました。大変、料理もお酒も美味しく大満足で会話も弾み皆さんのお人柄に触れ有意義な時間を過ごさせていただきました。その後、2 次会 3 次会 4 次会とありましたが、飲みすぎてしまい記憶に薄いので発表は控えさせていただきますが、神田通を信長行列の如くノブタカ行列が勇ましく列をなして行進していたことをおぼろげに覚えてます。

後藤政之会員

地区大会 2 日目報告

10 月 23 日午前 9 時、オープニング映像から高橋ガバナーの点鐘で始まりました。大韓民国、タイ国の国歌演奏、国歌、ロータリーソング斉唱、四つのテスト唱和、ホストクラブ会長挨拶、ガバナー挨拶、来賓の紹介と祝辞、参加クラブの紹介と進みました。10 時 10 分より R I 会長代理アドレスとして、安間みち子 R I 会長代理のお話がありました。準備の間に席を外したため、話の冒頭を聞き逃してしまいましたが、会員の増強、特に女性会員を増やしていくことを話され、昔は頑なに女性会員の入会を拒む会員がおられ、当時の会長がこの会員を退会させ新たに 3 名の女性会員を入会させたそうです。また、多くの



新会員が入会すると同時にそれ以上の会員が退会している現状にも触れ、なぜ退会するのか？様々な理由があるが、本当の理由は、ロータリーがつまらないからだとおっしゃっていました。時代の変化の中で、常に本当に必要な奉仕とは何か考え、若い会員や女性会員にも役割を与えることで公平性を保ち、全ての会員がリーダーシップを持って行動することで、明るいロータリーの未来を目指していきましょうとのことでした。

休憩を挟んで 11 時より大学院大学至善館教授、幸せ経済社会研究所所長の枝廣淳子さんの記念講演が行われました。テーマは「地域経済とレジリエンス」～持続可能で幸せな三重、岐阜へ！～です。レジリエンスとは、「回復力」「再起力」「弾力性」といった意味がありますが、枝廣さんは縮んだバネが戻る時のような「しなやかな強さ」と説明され、今の世界や国内は何が起こるかわからない不安定、不確定な時代で個人や企業、地域社会が外部からの衝撃、影響に対して、持ちこたえられる「しなやかな強さ」が必要であるとのことでした。今現在、元気のあるまちと淀んだまちの二極化が進んでおり、持続可能で幸せなまちづくりには、ぶれないビジョンと外部に依存しすぎない持続できる地域経済である。未来の望ましい姿を描き、つながりをたどって現状の構造を理解して望ましい好循環を描く。そして悪循環を断ち、好循環を強めるプロジェクトを立案、実行する。人口が増えれば消費が増え、消費が増えればお店が増えることで雇用が増える、雇用が増えればまた人口が増える。この好循環を作るためには、枝廣さんは地域経済の「漏れバケツの穴をふさぐ」と言っておられました。国からの補助金や企業誘致、観光業などその地域に入ったお金を、他の地域に出すことなく、その地域でぐるぐる回していく必要があるということで、北海道下川町のバイオマスや長野県飯田の LED の防犯灯など、具体的な事例もお話してくださいました。将来のビジョンを描いて、そこから逆算して行動していく、地域経済に限らず全てことに対して大事であると思いました。またロータリーでいえば、RI 会長と言われる「イマジン ロータリー」に通じるのではないかと思います。

講演の後は、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの紹介と挨拶、次期開催地が多治見市となり、高橋ガバナーの謝辞で閉会となりましたが、無事閉会を迎えた安堵と地区大会開催にあたり岐阜RCの皆さんのご苦勞を思い出されてか、感極まり言葉をつまらせる場面がとても印象に残りました。

***出席委員会**

会員数 29 名、本日の出席 22 名です。

***ニコボックス委員会**

- ・会長・副会長、幹事

先日地区大会にご出席いただきました皆様には大変おつかれ様でした。本日発表いただきます土屋敏幸さん、北原慎さん、後藤政之さんには宜しくお願ひ致します。

- ・吉田和也君

妻の誕生日に虎屋さんのおいしいゼリーを頂きました。ありがとうございました。

22 名のご投函ありがとうございました。

***その他委員会報告**

- ・環境保全委員会

森林整備例会について

***幹事報告**

- ・地区大会参加のお礼拝受

<次例会の案内>

第 2084 回 2022 年 11 月 12 日 (土)

長良川流域連携クリーン作戦例会

担当 環境保全委員会